

武義高だより

第141号

令和6年7月11日

岐阜県立武義高等学校



— 令和6年度PTA入会式 —

内 容

- ◆ 推し活 …………… PTA会長 1
- ◆ 学び続ける人材育成
…………… 校長 2
- ◆ どうぞよろしく ～PTA役員挨拶～
…………… 3・4
- ◆ 武義高等学校生として
…………… 生徒指導部長 5
- ◆ 進路実現に向けて …… 進路指導部長 5
- ◆ 今年度の指導方針 …… 各学年主任 6
- ◆ 新転入された先生方 …………… 7
- ◆ PTA定期総会書面開催
活動の記録 …………… 8

推 し 活

PTA会長 小林 亜弓



ご縁があり、本年度PTA会長を拝命いたしました小林亜弓と申します。このような大役を引き受けるのはこれまでに経験がありませんが、精一杯務めさせていただきます。

させていただきます。

今回会長を引き受けるにあたって、果たして自分に務まるのかどうか不安ばかりが大きかったとき、その気持ちを軽くしてくれたのが、前年度PTA会長をはじめとする役員の方々からの「サポートするよ」というお声掛けでした。「自分には支えてくれる人がいる。」その信頼が、会長職拝命の決心へと繋がりました。

最近の流行語に「推し活」という言葉があります。「推し＝自分が大好きな人、対象」を応援する活動の事です。皆さんの中にも、様々な「推し」が存在し、日常の彩り、癒し、モチベーションアップに繋がっているのではないのでしょうか。

本校のPTA活動は、目的として「学校教育の充実発展、学校と家庭の連携、会員の教養向上と相互親睦」を挙げておりますが、言い換えるならば、武義高生のみならず、保護者の皆様・先生方含め、武義高等学校への「推し活」ではないかと私は考えます。

前述のように、私は「支えてもらえる」という信頼の下、会長職を引き受けました。すなわち、「推す側」だけでなく、「推される側」にとっても、その思い・行為がやりがい及び生きがいへと繋がり、互いに良い循環を創り出せる。私は今回の経験を通して、そのように実感いたしました。

本年度のPTA活動では、生徒たちの学校生活をより充実させるための活動として、文化祭PTA事業、進路講演会、大学見学会等を予定しております。いずれも、PTA総会書面決議にて皆さまより頂いた貴重なご意見をもとに、学校と連携を図りながら行っていきます。

円滑な運営のためには、皆さまのお力添えが不可欠です。武義高PTAを、皆さまの「推し活」の一つに入れて頂けると幸いです。今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

学び続ける人材育成



校長 加藤 信男

日頃より、武義高等学校PTA会員等の皆様には大変お世話になっております。本校生徒のために、本校の教育活動のために、一方ならぬお力添えを賜り、心から感謝しております。おかげさまで、昨年度は普通科・ビジネス情報科ともに深い学びを具現することができました。普通科では、進学校の一つの指標である国公立大学への進学率が、一昨年度まで13%程度であったところ、昨年度は21%程度まで上昇し、ビジネス情報科では、学びとビジネス架け橋プロジェクトをはじめとして、美濃市役所内に美濃市未来創造課を設置するなど、生徒にとっては大変有意義な学びを実現できたと考えています。これも偏に皆様のご支援のおかげと感謝の念に堪えません。ありがとうございます。

さて、2022年度から新学習指導要領が実施されております。新学習指導要領で標榜されている「社会に開かれた教育課程」において、学校と地域の連携は大軸であり、そこに求められる学びは「主体的・対話的で深い学び」を視点としたものです。この学びは同時に地域との連携の契機であるとも考えられています。地域の構成要素として学校が存在している以上、地域教育力を主軸とした教育課程の開発や実践を進め、学びをおして地域とつながる必要性があると考えています。

本校が中等教育の主要な教育機関であることから、生徒は上述のような深い学びの具現をとおして、地域の現状を俯瞰し、自身が視座する世界の構造を認知し、課題を見出す力を身に付けなければなりません。私たちはこの力を「自走性」と銘打っています。

本校の教員等は厳しい採用試験に合格した優秀な者ばかりです。人間形成の場である中等教育において、知識の伝授だけではなく生徒の学習や発達を適切に支援できる高い資質を有しています。学校が地域との連携で大切にしなければならないことは、自走性に担保された人材育成を包含する「人間育成」であると考えています。人間育成には学びの蓄積が重要であり、学びの蓄積は、次なる学びの基盤となります。変化し続ける社会において、変化の状況と対話しながら自走的に学び続ける人材を育成することが、人間育成の大きな意味であると考えます。地域との連携において「学び続ける人材」を育むために学校教育として何をなすべきかを考え、開かれた教育課程の中で地域に理解を求め、地域との連携を進めていくことが、本校には求められていると思います。

私たちは、生徒の皆さんが、本校で学びを蓄積し、学び続ける人材として成長できるよう全力でサポートをしていきます。PTA会員等の皆様には、私たち教職員と一緒に生徒たちの成長に寄り添っていただければと思います。学び続ける人材育成のために、今後とも変わらぬご支援のほど、よろしくお願いいたします。



どうぞよろしく

～ P T A 新役員あいさつ ～



会 長 小林 亜弓

本年度 P T A 会長を務めさせていただきます。生徒たちのために、よりよい活動を目指してまいります。よろしくお願ひいたします。



副会長 森 弥生

本年度、副会長を務めさせていただきますことになりました。生徒のみなさんが楽しく過ごせるお手伝いが出来たらと思っております。一年間よろしくお願ひします。



副会長 山田 智里

本年度、副会長を務めさせていただきますことになりました。生徒の皆さんの高校生活が実りのあるものになるよう、お手伝いができればと思います。一年間よろしくお願ひ致します。



副会長 内木 紀子

本年度、副会長を務めさせていただきます。初めての事で分からない事ばかりですが、少しでもお役に立てればと思っております。1年間よろしくお願ひします。



副会長 橋本 千枝子

生徒の皆さんの高校生活が、楽しく有意義なものになりますようお手伝いさせていただければと思っております。よろしくお願ひ致します。





書記 梅村 昌史

本年度、書記を務めさせていただくことになりました。生徒の皆さんがいろんな目標に挑戦し、充実した日々を過ごせるように頑張りたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。



書記 坂井 里恵

本年度書記を務めさせていただくことになりました。生徒の皆さんが楽しい学校生活を送れるよう、お手伝いできればと思います。宜しく願いいたします。



会計 中山 和子

本年度、会計を務めさせていただくことになりました。役員の方々と協力して、生徒の皆さんの学校生活が充実するよう、微力ながらお手伝いさせていただきます。1年間宜しくお願いいたします。



会計 波多野 謙吾

本年度、会計を務めさせていただきます。生徒の皆さんが充実した高校生活を送れるようお手伝いさせていただきます。よろしくお願いいたします。



監事 古田 文子

今年度、監事を務めさせていただきます。生徒の皆様が充実した高校生活を送れるよう、微力ですがお手伝いできればと思います。1年間よろしくお願いいたします。



監事 佐藤 隆司

今年度、監事を務めることになりました。PTA活動及び生徒の皆さんの高校生活が、より良い年となるように1年間頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。



3年学年代表 多田 和弘

本年度、3年学年代表を務めさせていただくことになりました。1年間だけではありますが、生徒の皆さんが充実した高校生活を送れるようお手伝い出来ればと思います。よろしくお願いいたします。



2年学年代表 梶田こずえ

本年度、2年学年代表を務めさせていただきます。初めてのことで至らない点があるかと思いますが、生徒の皆さんが実り多い高校生活を送れるよう、お手伝いさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

『武義高等学校生として』

生徒指導部長 各務 憲之

感染症のパンデミックは、概ね終息しつつありますが、コロナ・ウィルスについては、今夏の再流行も懸念され、また、世界情勢にも、相変わらず不穏な空気が渦巻いています。そういった渦中において、生徒においては、少しずつ、状況への対応力や精神の耐性が鍛えられていると確信します。病気への不安や諦めに基因する様な、刹那的な生活態度はすでに無く、真面目に誠実に努力すれば、未来はきっと開かれるにちがいないという願いにも似た思いが、子どもたちの心に帰ってきはじめています。先日行われたクレペリン検査の結果として、とりわけ、本校2、3年生にかんしては、岐阜県下でも特筆すべき、成長の軌跡が認められるという報告がありました。繰り返しになりますが、生徒を取り巻く生活環境は、依然として楽観を許すものではありません。そういったなかでのこういった彼らの成長の姿が、我々大人に勇気と希望を与えてくれます。本校、生徒指導部の基本方針は、伝統に則った『学びの場であることを自覚し、主体的に判断し責任ある行動ができる態度を育む』であることには変わりません。そして今それに加えて、件の社会状況を鑑みつつ、

生徒ひとりひとりをよく見つめそして理解し、その心身により深くコミットすること、既成の方法論に縛られずに、生徒にとってより有用なアプローチを模索することを、心掛けています。生徒の変化、社会の移り変わり、といった事柄を、日常のなかできちんと把握し、本校教育活動の充実に努めたいと考えています。

伝統や地域に根差した取り組みとしては、自主的な地域活動を掲げ、国の伝統的建造物保存地区である「うだつの上がる町並み」、学校最寄り駅の長良川鉄道「梅山駅」、市民の憩う「小倉公園」、市内を通る「国道156号線沿い」等において、MSリーダーズ、学校家庭クラブ委員、運動系部活動部員等の生徒が美化活動を実践しています。また、美濃市の人権啓発活動にも積極的に参加をしています。広報に掲載される人権をテーマとした作文、あるいは年末に行われる人権展に作品を提供し、これらの活動については高い評価をいただいています。伝統を堅守しつつも、昨今の現実への対応を意識し、諸活動に現代的なエッセンスを込めることができれば、と考えています。また、こういった地域貢献を通じて社会性を育み、生徒における責任遂行の能力や、ときどきの状況に応じた正しい判断力を涵養したいと思います。ご理解とご協力をお願いいたします。

『進路実現に向けて』

進路指導部長 吉川 敏幸

武義高校はビジネス情報科と普通科との併設校であり9割以上の生徒が進学する学校です。生徒が進学する大学や専門学校といった上級学校の入試は、一般選抜や総合型選抜、学校推薦型選抜など幾通りもの選抜方法が行われており、面接等で志望動機や社会の出来事に対する考えを尋ねられるケースがあります。一般的に、大学生や社会人に求められる能力として「問題発見能力」「問題解決能力」「情報発信能力」が挙げられますが、ビジネス情報科の「課題研究」に代表される実践的な授業や普通科での「総合的な探究の時間」での探究活動がこれらの能力を伸ばし、また将来を考えるきっかけや志望動機につながります。先述の入試でも必要とされることであるため、進路決定にも有効的にはたらくと思われれます。

ところで、全国的に推薦入試等で早く進路決定がなされた生徒の学力が懸念されています。早い時期に進路決定がなされたため、そのあと十分な学習がなされていない、学力が不足しているのではないかとこのものです。本校では進路決定後も模試を継続的に受験したり検定に挑戦したりと学力の維持、向上を図っています。大学等では入学までに多くの宿題を出したり、高校の授業を入学後の特別補習として実施したりしているところがあります。継続した学習態度を保ってほしいと思います。

先日あるテレビ番組で、ライバルに勝つにはどうすればよいかという問いに「ライバルが行動していないときに、少しでもいいから行動する。その積み重ねだ。」と答えていました。学習や進路実現もこれと同じかもしれません。生徒諸君には自ら求め行動する態度を忘れないように学習に臨んでほしいと思うとともに、学校側は生徒の進路希望を実現させるための取り組みを進めていきたいと考えています。よろしく申し上げます。

才能・可能性を最大限生かし、夢の実現へ

1年学年主任 田中 龍太郎

高校での生活が始まりました。生徒の皆さんには、学習や部活動、学校行事などを通して、才能や可能性を伸ばし、夢の実現へと向かってほしいと考えております。色々なことに全力でチャレンジし、自分の「好きなもの」、「得意なこと」を見つけましょう。困ったときには、遠慮なく相談してください。

学校でのサポートは私たちが精一杯させていただきます。

きますが、家庭での時間もとても大切であると考えています。進路のことなど、考えることがたくさん出てくると思います。生徒の皆さん、学校や家庭でたくさん話をしてください。保護者の皆様は、お子様の声に耳を傾けていただき、時にはアドバイス等をいただけると幸いです。

生徒の皆さん、保護者の皆様、私たち教職員が三位一体となり、生徒の皆さんの成長と、夢の実現へと近づけたらと考えております。

三年間、よろしくお願い申し上げます。

視野を広げ、先を見据える

2年学年主任 牧村 修

高校生活の2年目。中だるみの年、ここで踏ん張れるかどうか大事だとよく言われます。しかし、目の前の授業・部活動・考査に追われているとあつという間に2年次は終わります。3年次になれば、卒業・就職・進学が目の前に近づき、否が応でも動くしかありません。でも、そこで動くのでは遅い。2年次には時間がありますから、この時間に力を蓄えないのはもったいない。

その時間を有意義に過ごすには、様々なものに触れること、チャレンジが必要です。他者との会話・本・動画など、様々な媒体から知識と力を蓄えて、自身が持つ力を試し、視野を広げてほしいと思います。もちろん、自分自身の進みたい進路の研究も大切です。広げた視野で、先を見据えた進路選択を検討してください。

来年の今頃には、具体的な進路に向かって歩んでいる生徒たちの姿を期待し、学年団一同で見守り、応援していきます。

自分の意思で決定を、行動を

3年学年主任 吉井 綾子

高校生活の最終学年が始まりました。最後の部活動、文化祭に向けて、最高学年としての責任を自覚して、1、2年生の模範となるけじめのある取り組みをして欲しいと思います。また、この1年は進路について人生の大きな分岐点で、自分の意思で決定し、自分の意思で行動することが大切になります。将来に向けて、明確な目標を掲げて、その実現に向けて粘り強く努力してください。

保護者の方は、お子様の進学や就職に向けてサポートをよろしくお願い致します。心配なことや相談し

たいことがありましたら、遠慮なく学校へ連絡ください。

高校生活で得た経験や友人が人生の成長の糧になり、自己実現の道標となることを期待しています。



新転入された先生方



教頭(国語) 笠井 智子

「清明や水琴窟の鳴る学校」大垣北高校から転任しました。山紫水明という語をリアルに感じられる地、美濃市の高校に赴任できたことを、とても嬉しく思います。高校の3年間は人生100年時代と言われる現代でも、格別の輝きを放つ時間です。在校中はさほど感じなくても、自然に囲まれ美しく整った環境で学んだ印象や何気ない日常の思い出は、武義高校の皆さんの心の基盤になっていくに違いありません。私も皆さんと共に今日一日を丁寧に過ごし、かけがえのない時間を積み重ねていく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



理科 吉田 凌平

多治見高校から異動して参りました。大学進学を機に県外へ行き、今年で岐阜に帰ってきて3年目になります。まだまだ、県外にいた頃の方言が出てくるがありますが、生まれも育ちも岐阜県民です。今年度は3年生の正担任をさせていただきます。慣れないことも多く戸惑いもありますが、武義高生の皆さんからはいつもパワーをもらっています。高校生は大人になっていく準備期間です。日頃の勉強や行事を通して自分で考え行動できる力や、仲間と協同する力をぜひ高めていってください。全力でやり切ったその先に、必ず得られるものがあります。一緒に挑戦していきましょう！



商業科 池石 知幸

今年度、市立岐阜商業高校から転任して参りました。綺麗な校舎で、落ち着いた生徒とともに、朝読書から私の1日がスタートします。この時間は慌ただしい毎日の中で、私自身も心を整える貴重な時間になっています。ビジネス情報科では「学びとビジネス架け橋プロジェクト」や課題研究の授業で、地元企業や団体の方々にご協力いただき、授業で学習した知識を更に深め、アウトプットできる場が多くあります。そんな環境の中で、試行錯誤しながら取り組む生徒のサポートができるよう私自身も努力していきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



理科 池村 和浩

担当教科は理科(専門は物理)です。加茂農林高校から転勤ですが、7年前に武義高校で勤務しておりましたので、この新築校舎をとっても懐かしく感じました。当時は、斬新なデザインの外装と内装にびっくり感動していたことを思い出します。この素晴らしい環境の中、素晴らしい生徒と授業出来ることは特別な気分です。挨拶も気持ちいいですね。本年度の授業では、1年生の物理基礎2クラス・2年生の化学基礎3クラス・3年生の科学と人間生活2クラスで、全校の半分近くの生徒さんに関わりますので、理科という教科の特性を生かして、身近な話題も紹介しながらの授業を楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。



理科 箕浦 涼

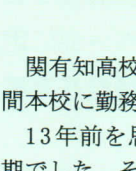
今年度、加茂高校から転任してまいりました。箕浦涼と申します。担当教科は理科(専門は化学)です。今年は1年生の担任をしています。きれいな校舎で、素直で礼儀正しい生徒たちと過ごす時間は大変心地よく、改めて「良い学校だなあ。」と感じています。

「改めて」というのは、私にとって武義高校は母校であるためです。将来の目標を見つけ、ひたむきに努力することができた思い出の場所でもあります。今の生徒たちにとっても高校生活が楽しい思い出に溢れ、充実したものとなるよう精一杯サポートしていきます。よろしくお願いいたします。



保健体育科 市川 奨吾

土岐紅陵高校から転任してきました、保健体育科の市川奨吾です。武義高校での生活も2ヶ月が経とうとしておりますが、毎日楽しく生活させていただいております。校長先生を始め、武義高校に関わるすべての人のおかげであります。私が昔から大事にしていることは、「人を大切にする」ということです。困っている人がいたら助ける。友人が悩んでいたら話を聞いてあげる。そんなことを常日頃思っております。生徒の皆さんにも学力向上はもちろんのこと、人間力を向上させる3年間であってほしいと思います。これからよろしくお願いいたします。



地歴公民科 井上 宜生

関有知高校から転勤してきました(2011年3月まで4年間本校に勤務していました)井上宜生です。

13年前を思い出すと新校舎の建設、移転と騒がしい時期でした。そのころ転勤してきて梅華塾にOBが寄贈したベルリンの壁の残骸があったり、OBの枢機脚(日本人では過去数人しかいない)の方の講演を聞こうという企画があったり(亡くなってしまっていて実現しませんでした)、私は関高OB(旧制武義高女)ですが、やはり旧制中学との伝統の違いを感じました。今年で再任用の勤務も最後の年ですが、武義高校で終わるのみなにかの縁を感じています。



国語科 仁木 麻祐子

今年度新規採用として武義高校に着任しました仁木麻祐子です。担当教科は国語と書道です。生徒の皆さんの元気な挨拶、また熱心に授業や部活動に取り組む姿をみて毎日沢山のエネルギーをもらい武義高校に着任できたことを嬉しく思っています。高校生活はこれからの人生において振り返った時、心の支えとなるかけがえのない財産だと思います。皆さんの高校生活が充実したものとなるよう、今この瞬間を大切にしながらまだ自分が知らない自分に出会えるよう、寄り添いながらサポートしていきますのでどうぞよろしくお願いいたします。



国語科 多賀 愛紗

今年度から武義高校でお世話になります、国語科の多賀愛紗です。初めてのことばかりで戸惑いながらも、優しく朗らかな皆さんとの授業や会話がとても楽しく、あっという間の毎日です。目の前のことにひとつひとつ誠実に向き合うことで思わぬ角度から道が開けることもあります。出会って日は浅いですが、高校生活を全力で楽しみ、進路実現に向けて邁進する武義高校の皆さんからそうした誠実さを感じています。これからも皆さんが全力で高校生活を楽しめるように、私も全力でサポートしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



地歴公民科 藤井 優那

今年度飛騨高山高校より転任してまいりました、藤井優那と申します。4月に赴任してからはじめての場所で新しい生活をスタートさせ、不安と緊張を感じておりましたが、武義高校の温かい空間に助けられ日々充実した時間を過ごさせていただいています。生徒の皆さんを見てると、いつ

も元気な挨拶・メリハリをつけて集中して授業に取り組む姿勢など本当に素敵な姿をたくさん見かけています。みなさんのそういった充実した高校生活のサポートを、微力ながら精一杯努めていけたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



図書館司書 北村 友紀子

このたび加茂高校から転任してまいりました図書館司書の北村です。武義高校では生徒の皆さんの明るい挨拶に元気をもらっています。「図書館」「読書」と聞くと堅苦しいと思われるかもしれませんが、楽しくて役に立つ図書館づくりをモットーに、図書館を生徒の皆さんが笑顔になれる場所にしていきたいと考えています。高校の3年間は様々な選択をし、将来について考える大切な期間になると思います。読書を通じて豊かな心を育むため、色々な場面で図書館を活用してもらえようサポートできたらと考えています。保護者の皆様も懇談などでご来校の際には、お子様との待ち合わせ等で、ぜひ図書館にお立ち寄りください。お待ちしております！

4月22日～4月26日 P T A 定期総会書面開催



今回の書面開催、大学等見学会、進路講演会について多くの皆様方からご意見をいただくことができました。今後のPTA総会の持ち方やPTA事業を行うための貴重なご意見として活用させていただきます。ご協力、本当にありがとうございました。学校ホームページに定期総会（書面開催）の議決報告や、皆様からのご意見を掲載しています。



学校ホームページのQRコード

活動の記録

4月18日 第6回本部役員会・第3回理事会・新役員候補



5月16日 第1回PTA本部役員会・理事会

